



DIGITAL HEARTS HDGS.



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月6日

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3676 URL <https://www.digitalhearts-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 筑紫 敏矢
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 伊丹 英人 (TEL) 03(3373)0081
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	9,847	5.0	624	△11.7	562	△20.4	358	△22.7
2026年3月期第1四半期	9,380	△4.6	707	139.2	706	124.0	463	119.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 537百万円(83.5%) 2026年3月期第1四半期 293百万円(△20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	16.07	—
2026年3月期第1四半期	20.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	21,351	10,185	46.2
2026年3月期	21,531	9,961	44.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 9,864百万円 2026年3月期 9,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	11.50	—	13.50	25.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 配当の状況に関する注記 : 配当予想の修正については、2026年8月6日付で公表いたしました「2027年3月期配当予想の修正(無配)及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,080	5.5	2,730	4.0	2,730	5.7	1,850	56.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社DIGITAL HEARTS GeeSPORTS 、 除外 1 社 (社名) 株式会社CEGB
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	23,890,800株	2026年3月期	23,890,800株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,591,996株	2026年3月期	1,591,996株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	22,298,804株	2026年3月期1Q	22,286,327株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) の4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料については、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

	2026年3月期 第1四半期 (千円)	2027年3月期 第1四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	9,380,367	9,847,239	5.0
営業利益	707,945	624,937	△11.7
経常利益	706,412	562,599	△20.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	463,903	358,395	△22.7

昨今、AIの普及拡大を背景に、AIがコード生成等を担うことでソフトウェア開発が加速する一方、開発プロセスのブラックボックス化やハルシネーション等、AI開発特有の課題も顕在化しており、テスト/QAに求められる役割は、単なる正誤チェックからユーザーにとって真に価値のあるものかという品質保証へと高度化しています。

このような状況のもと、当社グループでは、ゲーム・エンターテインメントコンテンツ向けにサービスを提供するDHグループ事業においては、「人の感性・感覚・閃きを活かした“エンタメ品質”保証」を、エンタープライズソフト向けにサービスを提供するAGESTグループ事業においては、「AI等先端技術が支えるQAソリューション及び多様化・巧妙化するサイバー攻撃から情報資産を守るセキュリティソリューションによる品質保証」という提供価値の実現に向け、既存事業の強化や新たなビジネスモデルへの挑戦を推進しております。また、AIをはじめとする先端技術の急速な進展により業界構造や事業モデルが大きく変化しつつあることを踏まえ、新たな成長の芽の発掘を目的にCVC(コーポレート・ベンチャー・キャピタル)部門を新設し、当社グループにはない技術・アイデア・ビジネスモデル等を有する企業への投資を積極化するなど、新たな市場や領域への挑戦を加速しております。

当第1四半期連結累計期間は、Nintendo Switch 2の発売を機に好転したコンソールゲーム市場を追い風に、引き続き国内デバッグサービスが好調に推移するとともに、2025年11月に子会社化したカナダのゲームデバッグ会社の新規連結効果もあり、DHグループ事業で2桁増収を実現いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、AGESTグループ事業においてERP導入支援の大型案件終了等一部サービスが縮小したものの、DHグループ事業が当社グループ全体の成長をけん引したことで、9,847,239千円(前年同四半期比5.0%増)と増収を達成いたしました。一方利益面では、AGESTグループ事業の売上縮小に伴う収益性の低下等により、営業利益は624,937千円(前年同四半期比11.7%減)、経常利益は562,599千円(前年同四半期比20.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は358,395千円(前年同四半期比22.7%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報並びに当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

	2026年3月期 第1四半期 (千円)	2027年3月期 第1四半期 (千円)	増減率 (%)
売上高	9,380,367	9,847,239	5.0
DHグループ事業	5,512,731	6,180,165	12.1
AGESTグループ事業	3,917,477	3,690,226	△5.8
CVC関連事業	—	—	—
調整額	△49,841	△23,152	—
営業利益又は営業損失(△)	707,945	624,937	△11.7
DHグループ事業	640,771	688,353	7.4
AGESTグループ事業	67,173	△60,699	—
CVC関連事業	—	△2,716	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益又は営業損失(△)としております。

① DHグループ事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲームやモバイルゲーム等の不具合を検出する国内デバッグサービスのほか、英語デバッグ、翻訳・LQA(Linguistic Quality Assurance)、マーケティング支援、ゲーム開発支援、カスタマーサポート等を行うグローバル及びその他のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間の国内デバッグサービスでは、Nintendo Switch 2向けをはじめとする新規タイトル案件を獲得することで、前期に引き続き高水準の売上高を維持いたしました。

また、グローバル及びその他のサービスでは、成長ドライバーと位置付ける翻訳・LQAサービスにおいて、グループ会社間及びアライアンスパートナーとの連携を強化することで着実に新規案件を獲得するとともに、2025年11月に連結子会社化したカナダのゲームデバッグ企業であるHUWIZ SOLUTIONS INC. の業績寄与もあり、グローバル及びその他全体として2桁増収を達成いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のDHグループ事業の売上高は6,180,165千円(前年同四半期比12.1%増)と増収となり、セグメント利益も688,353千円(前年同四半期比7.4%増)と増益を達成いたしました。

② AGESTグループ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するシステムテスト、受託開発、ERPの導入支援等を行うQAソリューションのほか、ソフトウェアやネットワークの監視・攻撃検知・対策を行うSOC(Security Operation Center)運営、システムの保守・運用支援等を行うITサービス及びその他のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間のAGESTグループ事業は、ERP導入支援における大型案件の終了や業界環境の変化を受けた受託開発の縮小等の影響により、減収となりました。

その一方、今後の成長に向け、システムテストにおいて、需要拡大が見込まれるクライアントに対する戦略的な営業活動やオペレーション体制の構築を図るとともに、独自のAIテスト管理ツール「TFACT(ティファクト)」の活用を推進するなどソリューションの付加価値向上に努めてまいりました。また、セキュリティサービスを第二の成長の柱とすべく、2026年1月より提供を開始した脆弱性リスクを可視化する独自のSBOM(Software Bill of Materials)管理ツールの販売を強化するとともに、米国のLazarus Enterprises, Inc. と共同で、自律型 AI サイバーセキュリティ基盤の共同開発及び商用化に向けた取り組みを開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のAGESTグループ事業の売上高は、ERP導入支援や受託開発の減収の影響が大きく3,690,226千円(前年同四半期比5.8%減)となりました。また、利益面では、減収による採算性悪化等もあり、セグメント損失60,699千円(前年同四半期はセグメント利益67,173千円)となりました。

③ CVC関連事業

当セグメントでは、当社グループにはない技術・アイデア・ビジネスモデルやイノベーター人材等の獲得が期待できる企業への投資を行っております。

当第1四半期連結累計期間のCVC関連事業の売上高はなく、セグメント損失は2,716千円(前年同四半期は実績なし)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

流動資産の残高は13,888,536千円となり、前連結会計年度末における流動資産14,031,100千円に対し、142,564千円の減少(前期比1.0%減)となりました。

これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が127,867千円、その他流動資産が330,723千円増加したものの、現金及び預金が587,182千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は7,463,035千円となり、前連結会計年度末における固定資産7,500,747千円に対し、37,711千円の減少(前期比0.5%減)となりました。

これは、主として無形固定資産のその他が76,016千円増加したものの、有形固定資産が57,070千円、のれんが53,827千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

流動負債の残高は10,778,729千円となり、前連結会計年度末における流動負債11,187,790千円に対し、409,061千円の減少(前期比3.7%減)となりました。

これは、主として短期借入金が200,300千円増加したものの、未払金が269,599千円、未払費用が104,705千円、未払法人税等が221,480千円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は387,818千円となり、前連結会計年度末における固定負債382,490千円に対し、5,327千円の増加(前期比1.4%増)となりました。

(純資産)

純資産の残高は10,185,025千円となり、前連結会計年度末における純資産9,961,567千円に対し、223,458千円の増加(前期比2.2%増)となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益が358,395千円及び為替換算調整勘定が158,431千円増加したものの、配当により利益剰余金が301,034千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年5月13日付で「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想からの変更はありませんが、今後の事業環境の動向や業績の進捗を注視し、業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,132,151	6,544,969
受取手形、売掛金及び契約資産	5,418,201	5,546,069
棚卸資産	69,461	93,801
未収還付法人税等	447,358	407,044
その他	1,045,233	1,375,957
貸倒引当金	△81,305	△79,303
流動資産合計	14,031,100	13,888,536
固定資産		
有形固定資産	1,620,049	1,562,978
無形固定資産		
のれん	1,790,588	1,736,760
その他	980,182	1,056,198
無形固定資産合計	2,770,770	2,792,959
投資その他の資産		
投資有価証券	1,341,538	1,328,925
その他	1,775,066	1,795,849
貸倒引当金	△6,678	△17,678
投資その他の資産合計	3,109,927	3,107,097
固定資産合計	7,500,747	7,463,035
資産合計	21,531,848	21,351,572
負債の部		
流動負債		
短期借入金	5,672,900	5,873,200
未払金	1,929,558	1,659,958
未払費用	1,447,086	1,342,381
未払法人税等	484,102	262,621
賞与引当金	227,625	163,873
その他	1,426,518	1,476,694
流動負債合計	11,187,790	10,778,729
固定負債		
退職給付に係る負債	18,570	19,847
その他	363,920	367,970
固定負債合計	382,490	387,818
負債合計	11,570,281	11,166,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	63,686	63,686
利益剰余金	9,945,478	10,002,839
自己株式	△1,792,421	△1,792,421
株主資本合計	8,517,429	8,574,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,526	△8,423
為替換算調整勘定	1,140,109	1,298,541
その他の包括利益累計額合計	1,112,583	1,290,118
非支配株主持分	331,554	320,116
純資産合計	9,961,567	10,185,025
負債純資産合計	21,531,848	21,351,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,380,367	9,847,239
売上原価	6,854,058	7,249,901
売上総利益	2,526,309	2,597,338
販売費及び一般管理費	1,818,364	1,972,400
営業利益	707,945	624,937
営業外収益		
受取利息	6,673	3,697
為替差益	17,126	—
助成金収入	4,509	5,331
その他	5,158	4,419
営業外収益合計	33,467	13,449
営業外費用		
支払利息	10,585	19,789
持分法による投資損失	22,772	30,819
為替差損	—	22,562
その他	1,643	2,615
営業外費用合計	35,000	75,787
経常利益	706,412	562,599
特別利益		
投資有価証券清算益	—	26,933
事業譲渡益	—	1,000
特別利益合計	—	27,933
特別損失		
固定資産除却損	—	101
特別退職金	—	10,980
特別損失合計	—	11,082
税金等調整前四半期純利益	706,412	579,450
法人税、住民税及び事業税	227,836	184,096
法人税等調整額	14,477	35,684
法人税等合計	242,313	219,781
四半期純利益	464,098	359,669
非支配株主に帰属する四半期純利益	195	1,273
親会社株主に帰属する四半期純利益	463,903	358,395

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	464,098	359,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,916	19,103
為替換算調整勘定	△156,865	152,345
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,197	6,715
その他の包括利益合計	△170,979	178,164
四半期包括利益	293,118	537,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,470	535,930
非支配株主に係る四半期包括利益	2,648	1,903

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DHグループ 事業	AGEST グループ 事業	CVC関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,467,716	3,912,651	—	9,380,367	9,380,367	—	9,380,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45,015	4,825	—	49,841	49,841	△49,841	—
計	5,512,731	3,917,477	—	9,430,209	9,430,209	△49,841	9,380,367
セグメント利益	640,771	67,173	—	707,945	707,945	—	707,945

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△49,841千円は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2. セグメント利益の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	DHグループ 事業	AGEST グループ 事業	CVC関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	6,161,001	3,686,238	—	9,847,239	9,847,239	—	9,847,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,163	3,988	—	23,152	23,152	△23,152	—
計	6,180,165	3,690,226	—	9,870,392	9,870,392	△23,152	9,847,239
セグメント利益又は 損失(△)	688,353	△60,699	△2,716	624,937	624,937	—	624,937

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△23,152千円は、セグメント間の内部取引に係る消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社グループは、AI技術の急速な発達等による産業構造の変化を受け、既存事業の枠組みを超えた新たな市場や領域への進出及び投資を推進し、変化への追従と事業拡大に取り組んでおります。

当該投資領域においては、機動的な投資先の評価や意思決定、明確な投資管理が求められることから、2026年3月19日の取締役会において、当社内にコーポレート・ベンチャー・キャピタル機能を担う「CVC部門」を新設することを決議いたしました。

この組織新設に伴い、当第1四半期連結会計期間より、従来の「DHグループ事業」「AGESTグループ事業」の2区分に、「CVC関連事業」の報告セグメントを追加し、3区分とすることといたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	120,944千円	169,211千円
のれんの償却額	73,848千円	97,203千円

(重要な後発事象)

当社は、本日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト(MBO) (注)の一環として行われる株式会社Sandbox (以下「公開買付者」といいます。)による当社の普通株式(以下「当社株式」といいます。)に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社株式を非公開化することを企図していること及び当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものであります。

詳細については2026年8月6日公表の「MBOの実施及び応募の推奨のお知らせ」をご参照ください。

(注) マネジメント・バイアウト(MBO)とは、一般に、対象者の経営陣が、買収資金の全部又は一部を出資して、対象者の事業の継続を前提に対象者の株式を取得する取引を指します。